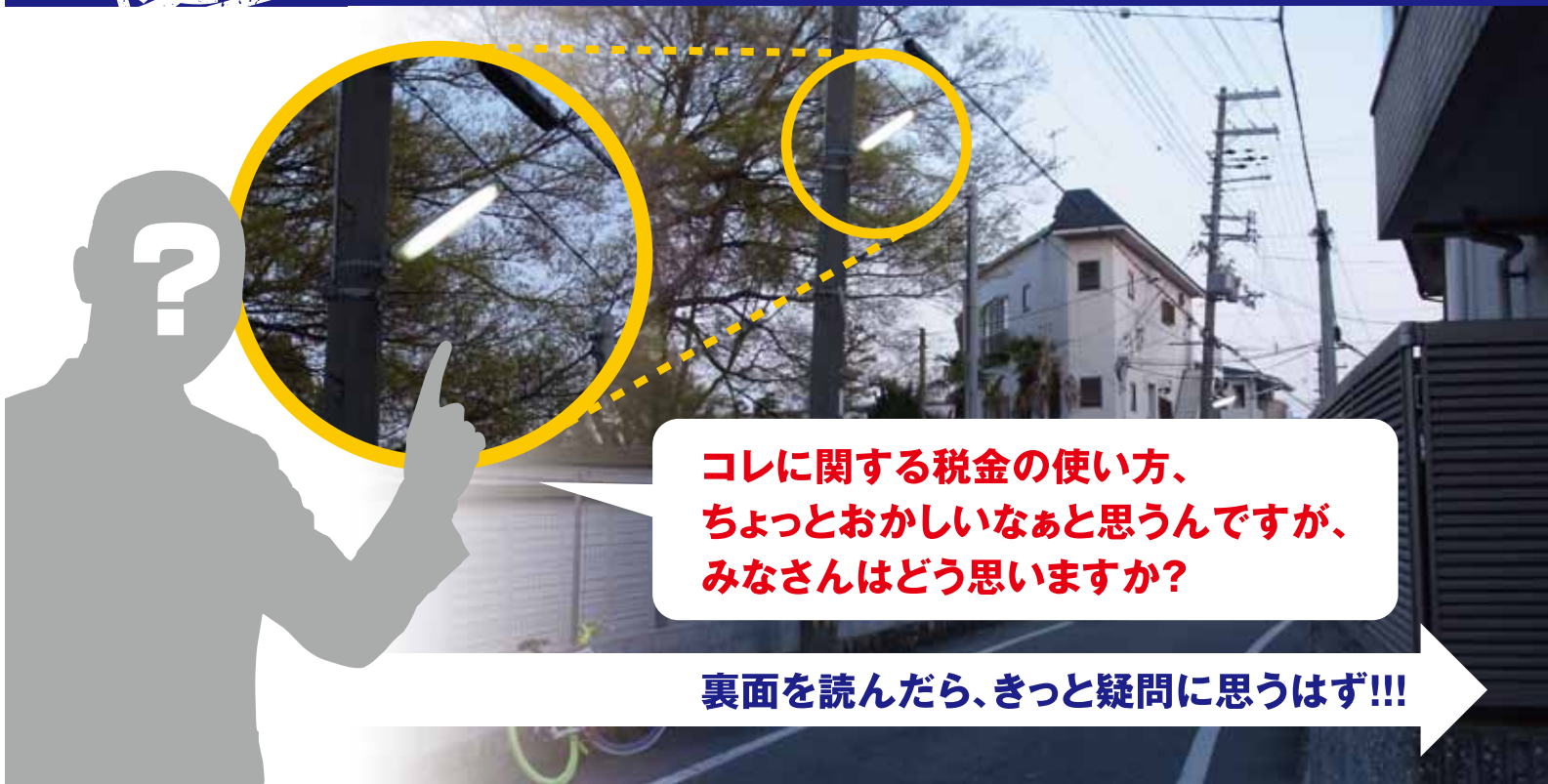


志政が  
市政を  
変える。

志政報告 NO.7 発行:西宮市議会議員 川村よしと

西宮市議会議員 **川村よしと** 28歳



これに関する税金の使い方、  
ちょっとおかしいなあと思うんですが、  
みなさんはどう思いますか？

裏面を読んだら、きっと疑問に思うはず!!!

政治家は、なぜ議会で居眠りするのでしょうか？  
政治家の、ウソの見抜き方、お伝えします。

こんなタイトルのチラシを20万枚以上配ったので、  
いろいろなご連絡を頂きました。

「政治のチラシなのに面白い！」

「こんな過激なこと書いて大丈夫？」

応援、賛同、悪口、脅迫…いろいろありました。

ご連絡下さった皆様、ありがとうございます。

今回のチラシの内容は、

ある市民の方から頂いた、一通のお手紙がきっかけになっています。

「この税金の使い方、おかしくありませんか？」

…という、素朴な疑問でした。

その方に直接お会いして、話を伺ってから調査を進め、

議会で一般質問(政策提案)を行った結果、

市は、その税金の使い方を改めることを約束してくれました。

…が、これから考えるべき課題も明らかになりました。

みなさんは、このお金の使い方について、どう思いますか？

それでは西宮志政、ご報告致します！



川村よしと

1984年7月22日生まれ(28歳)

趣味・特技はバスケットボール、

剣道(県大会優勝、全国大会出場)

関西学院大学経済学部卒業。

浜学園国語科講師、

(株)リンクアンドモチベーション

を経て、2011年4月、西宮市議

会議員選挙で初当選(1期目)。

議会内会派「政新会」所属。

Mail:kawamura@shisei-k.jp

住所:西宮市段上町

4丁目6番11-203号

川村よしと

検索

twitter やってます!!

@kawamurayoshito



# ★防犯灯への補助金の流れ、おかしくないですか???

・事例をひとつ、ご紹介すると…



市全体での差し引きは、**330万円になります!!**



※平成23年度の調査結果。  
※甲子園防犯協会では事例なし。

## Q. そもそも、防犯灯ってなに?

### A. 道路に設置されているライト (=表面の写真)です!

…が、道路照明灯とは違うんですよ。

道路に設置されている「街灯」は2種類あります。比較的広い道路には、下の写真のような「道路照明灯」が設置されています。

「防犯灯」は、道路照明灯が設置されていない狭い道路を照らすことで、夜間の犯罪を防ぐなど、皆さんの安全を守ることを主な目的としています。蛍光灯タイプが多いのですが、場所によっては、蛍光灯よりも明るいものが使われています。



見分け方は簡単。下の写真のようなプレートが付けられているので、一目で分かります。

ここからが本題。

このふたつの街灯は、管理者が違います。

え?どっちも市の持ち物でしょ?…って思った方、そうじゃないんです。道路によっては、県が管理しているものもありますが、「道路照明灯=西宮市」「防犯灯=みなさん(各自治会)」なんです。プレートにも書いてあります。



道路照明灯が切れた時には、市に連絡をすれば対応してくれます。…が、防犯灯の場合は、市に連絡しても対応してくれません。

みなさん: すいません、近所の防犯灯が切れてるみたいなんですけど…。  
市: あ、防犯灯については、自治会の方に連絡してくれますか?  
みなさん: …それ、どこのよ???

…といったこともあるようです。

防犯灯の管理が、各自治会に任されているというこの状態、もう少し掘り下げて、考える必要がありますね。

## Q. 防犯灯の管理について、何を考える必要があるの?

### A. ①市から自治会に出している補助金の流れを、明確にする必要があります!

防犯灯の電気代などの維持管理費は、市が

その大部分を補助しています。そのお金は、西宮防犯協会、甲子園防犯協会という組織を通して、各自治会に支給されています。平成23年度は、約2万灯の防犯灯に対して7500万円が補助されました。…が、上の黒板のように、市が自治会に出したはずの補助金を、防犯協会の会費という名目で差し引きしている支部があることが、調査の結果、明らかになりました。

コレに関して「差し引きしている支部は悪さをしているぞ!」などと言うつもりはありません。問題なのは、市が自治会に出した補助金に、直接タッチできてしまうという仕組みです。ある支部では「市の補助金の20%を会費として差し引く」ということになっていましたが、この20%という部分は書類の文言を修正するだけで、金額の変更が可能です。この状態は、税金の使い方としては良くありませんね。

この問題が、平成24年6月定例会で取り上げられた時の市の反応は、「防犯協会内部の会計処理の問題だ(市は関係ないですよ)」というものでした。

これを疑問に思ったボクは、過去の議事録(市、議員の発言記録)すべてに目を通し、証拠書類を揃えるなどの調査を行いました。すると、40年以上も前に、この件は市議会で取り上げられていたことが分かりました。当時も「防犯協会が補助金を直接差し引くことができる状態は改めるべきだ。」と指摘されており、市も「補助金が適正に運用されるようにする。」と明確に答えています。

これらを踏まえて、平成24年9月定例会で一般質問を行ったところ、「補助金の運用実態を調査し、改善していく。」と、6月定例会での返答を改めてくれました。

今のまま、お金の差し引きを続ければ「防犯協会ってお金のインチキしてるんちゃうの?」と、要らぬ誤解を生むことにもなりかねません。補助金は、その目的の通りに運用するのが、本来のあるべき姿です。**みんなが納めた税金ですから、その辺はちゃんとしましよよ。**

### A. ②市が防犯灯を直接管理するという ことも、検討しなくてはなりません。

防犯協会や、各自治会の方々が防犯灯を管理して下さっているおかげで、市はとても助かっています。

その仕事に人員を割かず済みますし、お金の面でも、市が直接管理する場合と比べて、約4000万円の節約になるそうです。自治会費など、税金以外の負担をみんなでしているから…という見方もできますが。

このようなメリットのある方法ですが、近隣では三田市しか、この方法を採用していません。他はどこも、市が直営で防犯灯の維持管理をしています。個人的にも、直営の方がこれからの時代に合っていると思います。その理由は下の通りです。

- ①自治会の高齢化や加入率の低下により、将来的に自治会単位での維持管理が難しくなると考えられること。
- ②市が管理した方が、大規模災害時等の対応がスムーズだと考えられること。
- ③今の方法では、明るい所と暗い所の差が大きい(補助金の分配にも差ができてしまう)こと。
- ④先に説明した、補助金の使い方についての問題がなくなること。

## まとめです。

昔から議員をされている方や防犯協会関係者の方に、「今の方法でうまくやっているのに、余計なことするな!」…と、言われたことがあります。

確かに、今はこれでいいのかもしれませんが。でもね、ボクが指摘しなければ、お金の流れがおかしいままでしたよね? それに、今の方法は将来的に、上手いかわない可能性が高いですよ?

前提として、関係者の方々の方々の日々の活動には、本当に感謝しています。その感謝があるからこそ申し上げたいのです。

**大切なのは、子供たちが大人になった時の西宮の姿を、みんなで描くことです。**

そのためには、今の方法にこだわらず、仕組みを変えることも必要でしょう。

そして**ボクの仕事は、ある特定の地域や団体のためではなく、西宮全体のために智慧を出し、汗をかくことです。**

そう思って、このチラシを配っています。

みなさんは、防犯灯の維持管理について、今のままがいいと思いますか? それとも、市が直接行うべきだと思いますか?

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」  
～オットー・フォン・ビスマルク～

## ◆「川村の出前」やっています!!

⇒ [kawamura@shisei-k.jp](mailto:kawamura@shisei-k.jp)

「とりあえず飲みに行こうよ!」「近所のカフェでお話ませんか?」…というご連絡やお誘いを30名以上の方から頂きました。市内であれば、どこへでも伺います!

## ◆ 他のチラシを配達します!! ご住所を教えてください、ボクが直接お届けします!



### ◆ 志政報告 No.5

「政治家は、なぜ議会で居眠りするのでしょうか?」



### ◆ 志政報告 No.6

「政治家の、ウソの見抜き方、お伝えします。」